

グリーンアリーナ神戸カップ フットサルフェスティバル 2017 大会要項

◆開催主旨

日本代表戦、F リーグなどが開催されるグリーンアリーナ神戸において、オーバー35・オーバー45、U-18 女子、U-12 対象のフットサル大会を開催します。すべてのプレーヤーがフットサルを楽しめる環境づくりに寄与することを目指します。

◆選手登録

- ・1 チームの選手登録は5名以上12名以下とする。
- ・登録時にチームごと所定の参加費を事前に納める。

◆競技人数

- ・チームは5人以上、試合開始時には両チームとも3人以上の競技者がいなければならない。
- ・退場などによりいずれかのチームの競技者が3人未満（ゴールキーパーを含む）となった場合、試合を放棄しなければならない。
- ・5人のうち1人はゴールキーパーとし、ユニフォームの色を変えるなど他の競技者、審判と容易に区別できるようにする。
- ・交代は交代ゾーンで自由に行うことができる。ただしプレー中の競技者が完全にピッチを出てからでないと交代する競技者はピッチに入れない（違反の場合警告の対象となる）。ゴールキーパーもフィールドプレーヤーと同様に交代できる。

◆競技時間

- ・前後半各7分（ランニングタイム）、ハーフタイム2分、タイムアウトなし。

◆順位決定方法（リーグ戦方式）

- ・リーグ戦方式における勝ち点は、勝ち=3点、引き分け=1点、負け=0点とし、勝ち点、当該チーム間の対戦成績、得失点差、総得点、抽選の順に順位を決定する。
- ・試合開始時間を2分過ぎても規定の人数が揃わない場合は相手チームの不戦勝とする。
- ・不戦勝の場合は戦績を3対0とする。

◆ノックアウト方式の勝敗決定

- ・試合を終了しても同点の場合は両チーム1選手によるペナルティキック方式により勝者を決定する。1選手で決定しない場合は、各1選手ずつ追加して勝敗が決定するまで行う。

◆実施カテゴリーと対象者/参加資格

[U-12] 2018年4月1日時点で満12歳以下

[U-18 女子]1999年4月2日以降の出生者の女性

[オーバー35] 2018年4月1日時点で満35歳以上

[オーバー45] 2018年4月1日時点で満45歳以上

※U-12のチームの参加には、成年の責任者が帯同すること。

◆選手のチーム登録

登録選手は、同一年度の同一カテゴリーには、1チームのみに登録/出場できる。

同一選手が、同一カテゴリー内で複数のチームで登録/出場した場合、当該選手および登録/出場のあった全チームを処分の対象とし主催者にて処罰を決定する。

◆複数のカテゴリーでの出場

カテゴリーごとの条件を満たせば、同一選手が複数のカテゴリーに出場することを妨げない。

◆競技規則

公益財団法人日本サッカー協会（以下 JFA）制定の「フットサル競技規則」による。U-12カテゴリーは、U-15規則（ゴールキーパーからのボールが競技者がピッチに触れる前にハーフウェーラインを超えてはならない）を適用する。

◆反則・警告の累計

反則の累計は行わない。

退場処分になった選手は次の1試合に出場できない。それ以降の措置については主催者にて決定する。

◆途中棄権

試合の途中でカテゴリーごとの参加資格を満たさなくなった場合、そのチームは棄権として相手チームの勝利として試合を終了させる。その場合の戦績は3対0もしくは終了時点でそれ以上の得点差のある場合はそちらをあてる。

◆ユニフォーム/用具

選手は他チームと区別できるシャツ（袖付き）・ショーツ・ストッキングを着用する。

フィールドプレーヤーとゴールキーパーは別色のシャツを着用する。

シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものが望ましい。

審判が対戦チーム同士の区別が困難と判断した場合、いずれかのチームに大会側準備のピ

ブス着用を指示する。

指輪、ネックレス、ピアス、ミサンガなどのアクセサリ類および眼鏡の着用を認めない。

必ずレガースを着用すること。

シューズは室内専用シューズ（ノンマーキング）を着用すること。

◆試合形式

・予選大会

4チームによるリーグ戦と順位決定戦

各カテゴリー、各地域から2チームが全国大会に出場する。

・全国大会

3チームによるリーグ戦と各グループの1位、2位チームによる準決勝・決勝、3位チームによるフレンドリーマッチを行う。

以上、原則として各チームが1日3試合以上の試合を行う。

組合せは、抽選のうえ当日会場にて発表する。

◆その他の規定・注意事項

・全カテゴリーとも試合球はフットサル4号球を使用する。

・飲食・喫煙は各会場の定める場所で行う。

・会場での飲酒を禁止する。

・試合中およびその他での暴力行為については、主催者ならびに開催会場の判断で所轄警察の指導および立ち入りをおおぐ場合がある。

・競技以外の行為で会場備品の破損が生じた場合は、行為者の責任において会場側と弁済などの協議を行うものとする。